世界遺産登録へ団結

佐渡市がシンポジウム

新潟県佐渡市は12月16日、「佐渡島の金山」の世界遺産登録に向けた「島民団結シンポジウム」を同市内で開いた。「世界遺産登録の意義と未来」をテーマに地元関係者、識者らがディスカッション。地元高校生による意見発表も行われるなど、悲願の登録実現へ、島民挙げての団結を確認した。

佐渡市の渡辺竜五市長は「世界遺産登録に向けて動き始めて間もなく28年となるが、登録が目前まで来ている。何としても成し遂げなければいけないとの強い思いでいる」とあいさつ。

「佐渡が誇る文化を世界に発信できるよう、国、市と一体で取り組む」と、花角英世新潟県知事のメッセージを同県観光文化スポーツ部の前川翔副部長が紹介した。

観光庁の竹内大一郎観光資源課長が「地域の観光資源の磨き上げについて」、鹿児島県屋久島町観光まちづくり課の岩川健地域振興係長が「世界遺産登録までの道のりと登録後の活用」をテーマに基調講演。

渡辺市長、竹内氏、岩川氏と地元関係者2氏（佐藤達也・佐渡観光交流機構事務局長、庄山忠彦・佐渡を世界遺産にする会事務局長）をパネリスト、篠原靖・跡見学園女子大学観光コミュニティ学部准教授をコーディネーターに迎えたパネルディスカッションでは、世界遺産登録の意義、観光の今後のあり方について次のような意見が述べられた。

「テーマは持続可能な島。世界遺産となり、多くの方に島に来てもらったときに、それをどうリピート、長期滞在、最終的に移住者になってもらうか。その仕組みを皆さまと考えたい」（渡辺市長）。

「『地域の暮らしを見てみたい』『交流をしたい』と、観光のニーズが多様化している。宿泊施設も多様なプランを紹介していかねばならない」（佐藤氏）。

「世界遺産を核に、佐渡全体が活性化するにはさまざまな機関との連携が必要。自然、文化、食、人と、佐渡にある素晴らしいものをさらにPRする必要がある」（庄山氏）。

地元高校生の代表として、新潟県立羽茂高校の生徒4人が登壇。「島民が金山に対する意識を深め、誇りを持つことにより、『人が輝く黄金の島』と呼ぶにふさわしい佐渡が実現する」と述べた。

世界遺産登録へ気勢を上げる参加者

松山市

東京で観光PR

ミニレクチャー会 初の試み

愛媛県松山市はこのほど、首都圏のマスコミ関係者を対象に、市の観光魅力やグルメなどの最新情報を紹介する「ミニレクチャー会」を東京都内で開催した。レクチャー会は初の試み。

主催者あいさつしたシティプロモーション推進課主査の神野智子さんは、「市は人口約50万人の四国最大の都市だが、田舎の穏やかさと都会の便利さの両方があるちょうどいい町」とアピールした。

松山といえば、国の重要文化財に指定されている道後温泉（本館）が有名。現在、1階浴室のみで営業しながら保存修理工事が行われているが、改築130周年に当たる2024年7月には全館での営業再開が予定されており、観光関係者の期待も大きい。

また、別館の「飛鳥乃湯泉」は道後で一番新しい湯屋で、館内は愛媛の伝統工芸を用いた最先端のアートで彩られ、中庭では写真家・映画監督の蜷川実花氏の作品が展示されている（2月末まで）。「浴室では珍しいプロジェクションマッピングも行われている」という。

12月9日からは日本100名城の一つ、松山城を中心に、初開催というイベント「まつやまお城フェスタ2023」が始まった。2月29日まで。

松山城をテーマにした新キャラクターを披露するほか、1月28日には城マニアとしても知られるお笑いタレントの田村淳さんのトークショーがある。

竹内美樹の 口福（こうふく）のおすそわけ

490

逆転の発想！

最近、中華料理店での会食が続いている。といっても高級中華ではない。先週は某施設にて、閉店後の店舗での打ち合わせ前に腹ごしらえ。横浜中華街発某チェーン店でオーダーしたコースは、前菜に棒棒鶏（バンバンジー）、お次は小籠包・焼売・エビ蒸し餃子（ギョウザ）・春巻の4種の点心。メインのエビチリに、名物の焼きそば、海鮮スープ、デザートまで付いて、何と1人税込み2200円！

他に、青菜炒めと炒飯を追加した。実は筆者、どこの中華料理店に行っても、青菜炒めは必ず注文する。野菜を食べた方がカラダに良いというのもモチロンだが、その店のレベルがある程度分かるからだ。こういう言い方は失礼かもしれないが、青菜炒めはシンプルだからこそ、料理人のスキルが問われる。ベチョッとしていたら論外だ。

この店の青菜炒めは、合格どころかムチャクチャ美味！ 使われていたのは、青梗菜（チンゲンサイ）。たまにかみ切れないようなヤツと出会うが、食べやすい切り方で、ニンニクも効いていて、味付けが抜群♪ あっと言う間にペロリと平らげてしまった。

小籠包は、味に特徴はないが、ちゃんと肉汁あふれる仕上がり。皮がモチッと透明なエビ蒸し餃子も平均点。店の人気商品というエビチリも、エビ自体がショボ過ぎず、味付けもそこそこ。つまり、青菜炒め以外の料理は、可もなく不可もなくというカンジ。だが夜遅い時間なのに、満員の盛況なのは、ナゼだろう？

コスパの良さもあるかもしれない。でも一番の理由は、冒頭に「名物」と書いた焼きそばの存在だろう。あたりを見回すと、どのテーブルにも必ずコレが載っている。福建省出身の創業者が開発したという焼きそばは、唯一無二。かつてテレビにも取り上げられ、行列ができたそうだ。

一体どこが他と違うのか？ あんかけ焼きそばは普通、そばの上にあんがかけてある。だが、ここでは何と、あんを焼きそばで包んでいるのだ！

卵液の助けも借りてカリカリに焼き上げられたそばには、何も載っていない。ただ焦げ目のついた焼きそばにしか見えないが、コレを切ってみると、中から白菜、もやしなどの野菜と豚肉のあんが、トロリと出て来る仕組み。

見た目のシズル感は絶対的だ。そこには、逆転の発想があった。普通なら上に載っているモノが下に隠れているだけで、大きなインパクトを与える。

そう言えば、みたらし団子の逆バージョンもある。団子にタレがかかっているのではなく、団子の中にタレが仕込んであり、食べると中からトロリとタレが出て来るという、同じ仕組みだ。

どうやって取り分けるのだろうと思っていたが、五等分に切ってあった。カリカリに焼くためにかなり油を使っていると思うが、5分の1だと脂っこさもあまり気にならない。

飲食店にアドバイスさせていただく際、必ず一つ看板料理を作ってほしいとお願いするが、その大切さを改めて実感した料理だった。新たな年は、私も逆転の発想で乗り切ろう！

※宿泊料飲施設ジャーナリスト。数多くの取材経験を生かし、旅館・ホテル、レストランのプロデュースやメニュー開発、ホスピタリティ研修なども手掛ける。

山梨県知事と野口さん

鉄道の必要性で一致

登山家で環境活動家の野口健さんが12月13日、山梨県の長崎幸太郎知事を表敬訪問し、世界遺産登録から10年を迎えた富士山を巡る課題について意見交換した。野口さんは知事が提唱する「富士山登山鉄道構想」に理解を示した。

県の富士山登山鉄道構想グループによると、会談では、富士山が世界遺産に登録された際、ユネスコ諮問機関「イコモス（国際記念物遺跡会議）」から出されていた課題がいまだ解決されていないという共通認識を確認。

その上で、知事は解決のために①五合目から上は県独自の入山規制を導入する②下は同構想を具体化する―ことなどを説明。野口さんは「20年も前から入山規制や入山料の必要性を訴えてきた」と賛意を示し、同構想に対しても「現状の課題解決には鉄道以外に方法がない」と持論を展開した。

握手をする野口さん（左）と長崎知事

体験型観光が日本を変える

〈333〉

体験教育企画社長　藤澤　安良

ロシアのウクライナ侵攻はまもなく2年が経過しようとしている。また、イスラエルによるパレスチナ・ガザ地区への侵攻も収まらず、いずれも死傷者は拡大する一方である。人類は人の命と引き換えに何を得ようとしているのか、人の命より大事なものが見つかるはずもない。長い人類の中で、人間が進化していない一面である。

日本でも政界を揺るがす事件が起きている。政治資金規正法違反や収支報告書不記載などから裏金作りにつながってはいないかとの捜査が進んでいる。すでに、関係が疑われている大臣が更迭され、政党役員などが辞職した。

政治と金の問題は35年前にも大きな問題となり、それ以来の長年の課題であった。国民に範を見せるべき立場である国会議員が、今なおそのような事態が続いているとなると、国民の政治への信頼を揺るがすことになるのは必定である。

また、東京オリンピックの開催に際して、談合や贈収賄があったとして裁判が行われている。フェアプレーのスポーツであり、平和の祭典に泥を塗る形となる。

民間でも中古車会社のあらゆる不祥事があったばかりだが、大手自動車会社で品質管理に関する検査データを偽装し合格させるという、自動車産業のみならず日本のものづくり産業の根幹を揺るがす大事件が発覚した。

精神的な進化が必要だ

こちらも長年にわたって多様な車種で行われていたとして、日本にとって大きなマイナスになる。

人が乗る車で命を運んでいる自覚が全くなく、こちらもまた企業としての社会的責任はどこへ行ってしまったのか、日本の精神が問われている。

コロナ後の2024年は、山積している社会問題をクリアにして、新しい時代に向かわなければならない。大阪・関西万博も迫っており、無理も不祥事もなく完済されることを望むばかりである。そして、それがインバウンドを含む日本の観光の起爆剤となることを期待したい。

誘客や経済効果が大阪や関西だけにとどまることなく、日本全土に波及する方策が必要になる。また、すでに京都や大阪の一部はオーバーツーリズムになっており、その現象に拍車がかかり、住民の暮らしに大きな負荷がかかることを避けるためにも、今インバウンドが薄い地域の頑張りどころでもある。

著名観光地ではなく名所旧跡や社寺がなくとも、素朴な自然や農林水産業の地域は体験交流プログラムの可能性と和食文化が根付いており、インバウンドや国内の日本人の誘客拡大戦略を持つべきである。

観光はコロナ前と大きく価値観もニーズも変化している。過去の延長線上に未来はない。観光産業側の古い人間の価値観では勝ち残れない。

また、可処分所得のシェア争いも激化することになるが、人間が生きるという根本的な教育、食育と食文化、社会貢献、SDGs、自己実現、人間関係などの人の尊厳と深く絡み合うような全く新しい人間成長旅行が必要な時代である。そのコンセプトで高価値高利益のビジネスモデルの構築が急務である。人間は精神的進化が必要だ。

地域観光

ママ鉄と巡るツアーを企画

はとバス

はとバスは1月、「ママ鉄」の豊岡真澄さんと京王資料館などを巡るバスツアーを運行する。私鉄の制服を着た豊岡さん＝**写真**＝との記念撮影もある。

はとバス75周年を記念した企画で、ツアー名は「ママ鉄『豊岡真澄さん』の制服三変化！『京王資料館』特別見学と『ロマンスカーミュージアム』」。11、18日の設定で、料金は昼食付きで11日が大人1万5千円、小人1万3500円、18日がそれぞれ1万6500円、1万5千円。

普段一般公開されていない京王電鉄社員向け研修施設「京王資料館」と引退した小田急ロマンスカーが常設展示されている「ロマンスカーミュージアム」を訪れる。

同ミュージアムでは、小田急電鉄の乗務員制服を着た豊岡さんとSE（3000形）運転席で、京王資料館では京王電鉄の旧駅係員制服姿で資料館のラッチ（改札口）でそれぞれ記念撮影する。

また、はとバス車内でははとバスの制服姿で車内トークする。

シャトルバスで初詣の渋滞解消

阪急交通社が運行

阪急交通社は1日から5日まで、大阪府豊中市の千里中央（千里阪急ホテル前）と箕面市の勝尾寺間を結ぶ「初詣シャトルバス」を運行する。初詣による沿線地域の渋滞緩和が目的。参拝者からの評判も良く、今年も運行することにした。

勝尾寺は勝運の寺、勝ちダルマの寺と知られ、受験やスポーツ、商売などの勝運を祈る参拝者でにぎわう。同社によると、正月期間は道路や駐車場の入場待ちのため、最大4時間を超える渋滞が発生する。

運行は昨年に続いて2回目となる。復路をみのおキューズモール経由で千里中央とすることで、ショッピングや食事を楽しみたいというニーズに応える。代金（当日券）は1人2495円。

昨年（1～15日）は8日間にわたりシャトルバスを運行、600人を超える参拝者が利用したという。

「東京三昧」の冬号を発刊

東京商工会議所のトラベル&ツーリズム委員会（田川博己委員長＝JTB相談役）はこのほど、観光デジタルブック「東京三昧カレンダー2023冬号」を発刊した。2月までのイベント情報を中心に、冬を感じられる情報を発信。今回は、日本酒づくりが本格スタートする時期に合わせ、江戸時代から420年以上続く、都内最古の酒舗を特集している。

謹賀新年　令和六年 賀正　（順不同）

扉ホールディングス株式会社
代表取締役 齊藤忠政
扉温泉 明神館・松本丸の内ホテル
ヒカリヤニシ・ヒカリヤヒガシ
Satoyama villa DEN
Satoyama villa 本陣

THE KUKUNA RESORT & SPA
代表取締役社長 宮下明壽
株式会社 河口湖第一ホテル
〒401-0303 山梨県富士河口湖町浅川70
TEL.0555-83-3333 FAX.0555-83-3111
https://kukuna.jp/

十勝川温泉 第一ホテル
豊洲亭 長陽亭 三余庵
代表取締役社長 杉本浩章
株式会社 第一ホテル
〒080-0263 北海道音更町十勝川温泉南12
TEL.0155-46-2231 FAX.0155-46-2238
www.daiichihotel.com

心とけあう、くつろぎの宿
代表取締役 渡邉武嗣
政府登録国際観光旅館
ふくしま・母畑温泉・やはたや
八幡屋
〒963-7831 福島県石川郡石川町母畑温泉
TEL 0247(26)3131(代)・FAX 0247(26)1220

創業1888年／日光国立公園鬼怒川温泉
あさや
代表取締役社長 八木澤哲男
栃木県日光市鬼怒川温泉滝813
TEL(0288)77-1111

湯守 ホテル大観 別邸 うらら
代表取締役会長 佐藤義正
代表取締役社長 佐藤康
盛岡市つなぎ字湯の館三七ノ一
電話(〇一九)六八九―二一二一

おかげさまで70周年
ホテル大雪 ONSEN & CANYON RESORT
代表取締役会長 西野目信雄
代表取締役社長 西野目智弘

野口観光株式会社
野口観光マネジメント株式会社
野口リゾートマネジメント株式会社
登別 石水亭
望楼NOGUCHI登別
ザ レイクビューTOYA 乃の風リゾート
絶景の湯宿 洞爺湖畔亭
源泉の湯宿 洞爺ごきらく亭
層雲峡 朝陽亭
層雲峡温泉 朝陽リゾートホテル
函館湯の川温泉 湯元啄木亭
HAKODATE海峡の風
望楼NOGUCHI函館
北湯沢温泉郷 緑の風リゾートきたゆざわ
北湯沢温泉郷 きたゆざわ森のソラニワ
北湯沢温泉郷 湯元ホロホロ山荘
定山渓温泉 章月グランドホテル
新苫小牧プリンスホテル 和～なごみ～
室蘭プリンスホテル 室蘭ビュー
第二プリンスホテル
箱根 きたの風茶寮
奥湯河原温泉 山翠楼SANSUIROU
奥湯河原温泉 海石榴つばき
湯河原千代田荘
代表取締役社長 野口和秀
本社 北海道登別市登別温泉町二〇三一
TEL 〇一四三(八四)二三五〇
FAX 〇一四三(八四)三三五六

登別温泉
第一滝本館 TAKIMOTOKAN HOKKAIDO
代表取締役 南智子

KUSATSU ONSEN HOTEL VILLAGE
代表取締役会長 中澤敬
株式会社 中沢ヴィレッジ
群馬県吾妻郡草津町大字草津618番
TEL：0570-01-3232 FAX：0279-88-4513
URL：https://www.hotelvillage.co.jp

MOUNTAIN RESORT 1923
SOUN KAKU 層雲閣 HOKKAIDO
取締役社長 奥村章一
層雲閣MOUNTAIN RESORT1923
〒078-1792
北海道上川郡上川町層雲峡温泉
TEL：01658-5-3111

有縁の湯
赤倉ホテル
代表取締役 村越恵子
新潟県妙高市赤倉四八六
〒九四九―二一一一
TEL（〇二五五）八七―二〇〇一（代）
FAX（〇二五五）八七―二〇三三

ふくしま あだたら高原 岳温泉
あづま館
代表取締役社長 藤井宏二
〒964-0074
福島県二本松市岳温泉1－5
TEL 0243－24－2211
FAX 0243－24－2671
http://www.azumakan.com/